

第8回 オレコサミット 開催
OLECO SUMMIT

2030年に向けて、
いま学習塾が立ち向かへべき課題

7月4日(日)、株式会社スタディラボ(地福武史代表取締役、東京都文京区)主催による「第8回オレコサミット」がオンラインセミナー形式で開催された。学習塾業界を取り巻く今後の展望を語る講演をはじめとして、販売サービス開始から6年となる「オレコ」を中心とするオンライン英会話教材の勉強会や新商品を紹介する情報共有などが行われた。

基調講演
業界展望
学校・民間教育・家庭学習から考える
未来の日本

(株)市進ホールディングス代表取締役会長 下屋俊裕氏は、社会の変化を踏まえて昨今の教育業



市進ホールディングス 下屋俊裕 代表取締役会長

界の総括を述べた。「生産人口・幼少人口ともに減少が見込まれるエリアでは、ライブ授業に加えて映像授業が必須となります。そして、海外で活躍できる人材を育てるために早い時期から英語に触れる必要性は言うまでもありません。英語に特化したオンライン授業は、大きな可能性を秘めていると思います」

さらにGIGA A



(株)スタディラボ 地福武史 代表取締役

「テクノロジーが融合し、指数関数的な加速が始まっている中で、コストが下がり新しい競争が生まれています。特に量子・AI・ロボットの領域は、職業選択の中軸になると考えられます」

「いまや、世の中はサービスエコノミーが大半を占めています。古典的とも言える工業的教育制度、つまり画一的教育は崩壊します。また、人智を超えた情報爆発や、世界中で教師不足も懸念されています」

「オレコ」は授業を、「ミルクラス」は教室をICT化しました。「ミルクラス」の登録者数はすでに7万人を超えています。さらに現在、統合IDによる教育プラットフォームを開発中で、12月にリリース予定です。学習塾のICT化を推し進めるのは、テクノロ

「デジタル教科書」だと下屋氏は話す。「中学校における学習者用デジタル教科書の発行状況は、2021年度は25%に対し、2022年度

は「デジタル教科書」だと下屋氏は話す。

は95%が導入され、飛躍的に伸びています。手で書く記憶と目視だけの記憶の差は明らかですから、わずか2行でも自分の手で書いて長期記憶にとどめるトレーニングをすることで、英語力は格段に上達します」

代表講話
塾を覆いつくすテクノロジーの力
学習塾のICT化、その背景を予見する

続いて、(株)スタディラボ代表取締役 地福武史氏が登壇した。「これまでの10年と今後の10年は、

進化の速度が根本的に異なる」として、2030年に学習塾を襲うテクノロジーを「破壊的イノベ

「GeT」「ミルクラス」の導入事例

(株)スタディラボ執行役員 杉山拓央氏と峰嶋聡子氏から、昨年ラインナップされた「GeT」と新商品「ミルクラス」の紹介が行われた。

込む利用が増えていきます。特に低学年に対して、レッスン時間の短さで入口のハードルが下がる効果に期待ができます。どちらも自宅利用ができ、学習塾のカリキュラムに関わらず、指導時間以外にアウトプットの時間を提供することが可能です」(杉山氏)

「オレコ」は1レッスン25分ですが、「GeT」は15分と授業設計しやすく、必修として授業に組み

また、「オレコ」を通して英語のスキル向上だけでなく、英会話学習で学んだ言語感覚が他教科にも活かされ、漢文や古文の成績も上がったという導入塾の事例が報告された。



杉山拓央氏



峰嶋聡子氏

「学習塾での使い方は2つのパターンが想定されます。1つは対面指導以外の時間を有効活用して、定期テストの集約や宿題の提出状況などを把握すること。もう1つは、保

「学習塾での使い方は2つのパターンが想定されます。1つは対面指導以外の時間を有効活用して、定期テストの集約や宿題の提出状況などを把握すること。もう1つは、保

第8回 オレコサミット 開催
OLECO SUMMIT

2030年に向けて、いま学習塾が立ち向かうべき課題

EdTech導入の最先端で多くの学習塾をサポート

スタディコンパス受講総数* 55,000人突破

ミルクラス受講総数* 70,000人突破

学習塾をアップデート
オンライン対応で売上UPを

オンライン授業	動画配信	動画アプリ不要
運営・管理も簡単	動画アプリ不要	保護者対応

先着20法人限定 キャンペーン実施中

スタディコンパス Study Compass

ミルクラス

や教育改革について言及した。さらに、教科書改訂による授業内容の変化に対し、一歩踏み込んでどこまで自塾の強みにできるかが、今後の課題だと話す。

「アフターコロナによって、学習塾として英語教育やICT普及は今こそアップデートするチャンスです。まさに、自塾のブランドデザインを見直す岐路に立たされています。英語教育を武器にする際、ポイントになる要素は

『小学生に対する母国語の必要性』『5（3）教科+付加価値』『持続的サービス（小中高）の3つです。』

まず、学習の土台を形成する母国語の4技能をどれだけ小学生が体得しているか。そして、付加価値は6つ目の教科」というスタンスで、強みを訴求すること。さらに最も重要なのは、持続的サービスの提供です。中高受験がゴールではなく、その先を見据えた指

塾専用のオンライン英会話シリーズ

これまで日本全国で 900教室突破

受講生の総数 20,000人突破

活動実績 5年経過

英語に強い塾へ
オンライン英会話で+1教科

自宅でも塾でも受講可	運営・管理も簡単	圧倒的な実績
目的に合わせ選べる教材	動画アプリ不要	優秀な外国人講師

オンライン英会話 GET

OLECO

TRY-ANGLE

護者向けの指導報告書などを提供する場合があります。生徒ごとのルームを使って、保護者用と生徒・保護者用に分けて活用することが可能です」（峰嶋氏）

そして、対面授業以外の活用法や業務改善にもつながった導入事例が紹介された。

「ミルクラス」はすべての機能が基本料金で利用できるため、使えば使うほどコストが上がるのもメリットです。今後も学習指導要領

に対応した教材の種類を順次増やし、皆さまのご期待に届いていけるよう鋭意精進してまいります」（峰嶋氏）

（株）スタディラボ取締役 横田保美氏は、

講話① 新しい教育世界に
立ち向かう学習塾の戦略

少子化への危機感を次のように述べた。

「2016年から急減期に突入しましたが、出生数の減少が学習塾市場に反映されるのは、生まれた子どもが中学受験に直面する約10年後、つまり2026年から塾業界をダイレクトに直撃します」

さらにコロナ禍が覆いかぶさり、一般的な想定よりも少子化危機は10年前倒しになりかねないと分析されているという。この状況を横田氏は、かつて経験したことのない市場シユリンク」と位置づける。

「新たなサバイバルの時代は、改善主義では生き残ることができません。いわゆる塾らしい塾が閉鎖・廃業する時代には、差別化ではなく、特異化こそが求められる戦略です」

さらに、米中冷戦が教育にもたらす影響についても、横田氏は指摘する。

「宇宙・IT・医学・情報・金融などの分野で米中が対立する中、サイエンスに対する投資競争で、各国が集中的に資金をつぎ込む時代が訪れます。やがては世界の教育が分断されるかもしれません。ビジネスのためだけではなくサイエンスのための英語力を高める、という発想が重要です」

講話② 英語教育
追い風を掴む経営戦略

（株）SRJ代表取締役 堀川直人氏は、今春の大学入試共通テストを踏まえ、英語入試

導やカリキュラムを構成し、ブランドデザインを示すことが求められています」

講話③ 入試の概念、
求められる学力が変わる！

大学入試改革元年である2021年。教育開発出版（株）代表取締役 糸井幸男氏が注目したのは、英語に思考判断や情報処理能力が求められる点だ。

「内容を間接的に判断し、文章全体を聴いて思考すること。センター試験は、聴きとれるかどうかでしたが、大学入学共通テストは簡単な文章だが、考えさせる問題」が出題されました。ポイントは英語による思考です。日本語に変換することなく、英語で素早く情報処理する能力が求められています」

これまでの英語は、語学の勉強だが、これからは、第2言語」として使いこなすことが求められる、と糸井氏は強調する。

「小中学生から英語による日常的なコミュニケーションの習慣が大切です。生徒の自己肯定感や学習意欲を高めることができるオンライン英会話こそ、まさに英語指導のトレンドだと言えます」

講話後には学研プラスや学書、文理、好学出版、教育開発出版、SRJ各社から夏期講習向けの教材や、デジタルツールなどの提案が行われた。